



# CARTOON CLASSICS!

フェローズが贈る、カートゥーン音楽の祭典

<プログラム>

●『トムとジェリー』(1940~)  
ハンガリー〜狂詩曲 第2番/フランツ・リスト

●『ファンタジア』(1940)  
交響詩「魔法使いの弟子」/ポール・デュカス

●『ルーニー・テューンズ』(1930~)  
歌劇「ウィリアム・テル」序曲より フィナーレ/ジョアキーン・ロッシニ

●『原始家族フリントストーン』(1960~)  
スターダスト/ホーギー・カーマイケル  
バリトンホーン: 高橋 絵里香

♪トムとジェリー/スコット・ブラッドリー  
パーカッション: 貫井 美穂

♪ナイトメア〜ビフォア・クリスマス/ダニー・エルフマン

プログラム内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

ご来場の皆様へご案内とおねがい

- ・車椅子の方への座席をご用意しております。
- ・お子様連れの方もご来場になれますが、鑑賞中はマナーを守って静かにご鑑賞ください。

2026 5/30 (sat.)

open 13:00 start 13:30

入場料 500円 (前売・当日)

曳舟文化センター ホール

京成電鉄 押上線「京成曳舟駅」下車 徒歩1分  
東武スカイツリーライン・東武亀戸線「曳舟駅」下車 徒歩4分





## Brass Band Fellowsとは？

Brass Band Fellowsは、2012年4月に活動を開始した英国式金管バンド。

東京都を中心として、年2回の定期公演を軸に意欲的な演奏活動を展開している。

定期公演では「聴いたことのない曲も楽しんでいただけるコンサート」を目指して毎回テーマを設定した一貫性のあるプログラム構成をモットーとしており、好評を得ている。

これまでに取り上げたテーマは、「日本」「プロムス」「グリー」「ネオクラシック」「平和とクリスマス」「探検家」「ロックンロール」「海のお宝の図鑑」「宇宙の神秘」など多数にわたる。

また、2014年には東京ブラスバンド祭の前身となるブラスバンドフェスタ東京を主催。

## 指揮：鈴木 孝裕

東京都出身。武蔵野音楽大学卒業。現在トランペット奏者としてオーケストラや吹奏楽、金管バンド、ブラスアンサンブル、ソロ、アーティストバックバンド、ダンスバンド、レコーディング、TV出演など様々なジャンルで活躍中。また指揮者、アレンジャーとしても活動し全国各地を渡り歩いている。「細川たかし専属バックバンド」「東京ブラスソサエティ」「Black & Blue fish Brass Brothers」各メンバー。「UT-MUSIC」「クレフ楽器」ほか、各トランペット講師。日本ブラスバンド指導者協会理事。



## お客様の声

音色がとっても美しくサイコーでした！

音楽を愛する一人一人が心をこめてたのしく演奏しているのが印象的でした。

皆さんの楽しそうな姿を見てこちらも楽しくなりました！

とても、とても楽しかったです。

テーマをもとにまるで絵本を1ページずつめくっているような物語性が感じられとても素敵でした。

※個人の感想であり、印象には個人差があります

## 英国式金管バンドとは？

19世紀にイギリスで誕生し、「サクソルン属」と呼ばれる金管楽器群(フリューゲルホーン、テナーホーン、バリトンホーン、ユーフォニアム、ベース)とホルネット、トロンボーン、打楽器で構成される合奏形態。特に労働者階級の人々の間で発展し、イギリスを中心に世界各地で演奏されています。日本では「ブラスバンド」というと木管楽器を含む「吹奏楽」を指すことが多いですが、イギリスではブラスバンド(=Brass Band)と吹奏楽(=Wind Band)は区別して呼ばれています。また、馬蹄形やコの字形に座席を配置することにより、ステージ上で楽器同士の音がブレンドされ、やわらかな響きを客席に届けることができます。統一された音色で会場を響かせるさまが教会で演奏されるオルガンに似ていることから、英国式金管バンドは「動くパイプオルガン」ともいわれています。

WebSite



<http://goo.gl/MvcEjh>

Facebook



<http://goo.gl/ztRXk9>

X (旧Twitter)

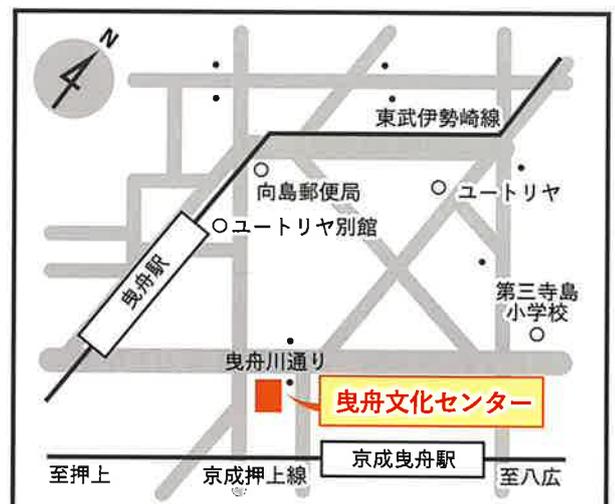


<https://bit.ly/32aGzKq>

YouTube



<http://goo.gl/JsFJ3V>



京成電鉄 押上線「京成曳舟駅」下車 徒歩1分  
東武スカイツリーライン・東武亀戸線「曳舟駅」下車 徒歩4分